

古典主義再考

【全2巻】

木俣元一（名古屋大学教授）・松井裕美（神戸大学准教授） 編

「古典」はいかにして
「古典」となったのか



I

西洋美術史における 「古典」の創出

本体価格 4,500 円＋税

A5 判上製カバー装 本文 480 頁
ISBN 978-4-8055-0886-2 C 3070
2020 年 12 月刊

古代ギリシアから 20 世紀初頭までの西洋美術における「古典」の創出と制度化の問題に焦点をあて、規範的な「古典主義」概念に挑戦し、その多面的で複雑な歴史的様態を浮き彫りにする 13 篇の論考を収録。

「古典」と「前衛」の相克



II

前衛美術と「古典」

本体価格 3,500 円＋税

A5 判上製カバー装 本文 312 頁
ISBN 978-4-8055-0887-9 C 3070
2020 年 12 月刊

芸術史と文学史の交差する視座から、20 世紀の古典主義における多面性や矛盾、亀裂について考究し、当たり前とされてきた歴史認識について問い直す 8 篇の論考を収録。

〈古典〉や〈古典主義〉といった概念の形成・受容が西洋美術史の歴史観の形成と結んでいた関係について考察。個々の作家や作品に即した緻密な事例研究と、広範囲な時代・地域の理論的著述の分析に基づく〈古典主義〉概念の再検討とを美術史、考古学、建築、文学との交差する地平から試みる、世界でも先例のない学術書の公刊！

I 西洋美術史における「古典」の創出

目次

〈古典的なるもの〉の射程

木俣元一
松井裕美

第一部 古代・中世における起源と原型の創出

古代ギリシア・ローマ美術における「古典」

芳賀京子

ウイトルウィウスの『建築書』の古代ローマにおける受容

川本悠紀子

初期中世美術における「古代」、「古典」、「擬古」

奈良澤由美

——ガリアの柱頭を中心とする事例からの考察

ゴシック建築における円柱と古典主義

木俣元一

ナポリ・アンジュール家の美術と「古典主義」

谷古宇尚

第二部 ルネサンスにおける規範と逸脱

ルネサンスにおける「古代」の記憶から「古典主義」創出へ

小佐野重利

古典主義者アルベルティ再考

岡北一孝

——マラテスタ神殿の凱旋門モチーフの意図とその受容

ルネサンス期の古典概念とラファエツロ初期様式の形成

伊藤拓真

——「オッディ祭壇画」におけるベルジーノ、ピントリッキオとの

関係とヴァザリ『美術家列伝』の記述

一六世紀初頭の北イタリアにおける

古典主義の受容に関する一考察

百合草真理子

第三部 近世・近代における美術教育と科学としての古典主義

王立絵画彫刻アカデミーと古代彫刻

栗田秀法

——エートスとパトスをめぐって

ヴィンケルマンの古代受容とドイツ古典主義の形成

佐藤直樹

一九世紀フランス絵画における古代美術の受容

三浦 篤

——アカデミスム、ヴィッラ・メデイチ、そして前衛へ

フランス前衛彫刻への軌跡と古代美術との対話

松井裕美

II 前衛美術と「古典」

目次

二〇世紀美術史における〈古典〉の複数性

松井裕美

第一部 モダニズムと〈古典主義〉

バック・トゥ・ザ・フューチャー？

デイヴィッド・コッティントン

——前衛、古典主義と〈後衛〉の概念

(翻訳：請田義人)

前衛と古典主義回帰

久保昭博

——モデルニテのパラドックス？

前衛／古典主義／プリミティヴィズム

河本真理

——両大戦間期の美術の問題系をめぐって

文化相対主義の時代における

ローカルなモダニズムとしての古典の所在

吉澤英樹

——ポール・モラン『ルイスとイレヌ』(一九二四年)を読む

第二部 起源の創出と瀆神

カルロ・カツラとイタリアにおける秩序回帰の始まり

池野絢子

水瓶とカスターネット

鈴木雅雄

——ピカビアのアンゲル贋作をめぐって

シュルレアリスムと古典主義

木水千里

両大戦間期のフランス芸術における「伝統」と「危機」

飛嶋隆信

——ヴァルデマール・ジョルジュの批評の変遷

関連書籍

新古典主義美術の系譜

木村三郎 監修

本体価格 三、五〇〇円

A5判上製カバー装 本文二六四頁 ISBN 978-4-8055-0884-8 二〇二〇年十一月刊

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

お取り扱いは